

石鎚山系縦走(笹コギ三昧)

【報告者】T 寄

【日時】2017年9月21日～24日

【9月21日】 晴れ

中七番登山口 10:00→分岐 11:30→12:05 平家平 15→14:00 ちち山分れ 10→15:30 笹ヶ峰 40→寒風山 17:00→17:35 桑瀬峠

新居浜駅のベーカリーでコーヒーとホットサンドを食べる。予備としてプラティパスに1Lの水を店員さんをお願いしたら、冷えたレモン水を満タンに入れてくれた。

計4L以上になったので、時間によったら笹ヶ峰を通過して桑瀬峠泊も可能となった。

登山口の住友フォレストハウスで登山路の確認をしたら、一ノ谷越への道は崩壊が激しく通行禁止になっているとの情報であった。



<冠山からちち山・笹ヶ峰>

広葉樹の森を沢に沿って登ると、一面笹原の稜線に出る。平家平は、右手には赤石山系、左手には伊予富士越しに石鎚山の360度の大展望であるが、此処から笹コギの始まりである。笹は深くても腰上辺りまでなので、展望を楽しみながらルンルンと進む。ちち山分れからのトラバース道の笹コギは観念はしていたが、今年は登山道も傷んでいて非常に悪く、大変に疲れてしまった。次からは、トラバース道は通らないことにする。

笹ヶ峰着が計画よりも1時間早かったので桑瀬峠まで進むこととする。トラバースでバテた身体を引き摺りながらも、日没前に桑瀬峠にテントを設営することが出来た。

最初にやることは、明るいうちに裸になってダニの点検を行うことである。今日も右足の付け根に1匹の笹ダニ(マダニ)が居た。まだ皮膚に潜っていなかったので手で取ることが出来た。

笹コギが予想される山行では、帽子にロングタイツと長袖、首にはタオルを巻いて素肌を出さないようにしているが、股間周辺で数回発見した。小用でタイツを下ろした時に飛び込んでくるようである。背振全山で帰宅し風呂で発見したときは、既に太ももに喰い込んでいたので、皮膚科で切開して取り除いてもらったこともある。

それからは、何はさておき点検することになっている。

快適な天場であったが、日が変わる前から雨が降り出す。

【9月22日】 雨

桑瀬峠 5:00→伊予富士 6:10→7:05 主谷分岐 15→8:50 西黒森山 9:00→瓶ヶ森 9:50→ 11:55
シラサ峠避難小屋

雨の中で撤収し伊予富士・西黒森山と進むが、なかなかピッチが上がらない。昨日のちち山分れからのトラバース道がよっぽどキツカッタようで身体が重い。

主谷分岐、西黒森山と休憩を重ね、激しくなった雨の中、瓶ヶ森に到着する。瓶ヶ森ヒュッテの様子を見に立ち寄るが、立ち入り禁止の看板とトラロープが張ってあるだけで、まだ取り壊しもされていなかった。

子持権現の巻道はやはり猛烈な笹コギであった。背丈以上ある笹は雨に濡れて重たく、倒木も数カ所あり、倍近い時間がかかった。林道を歩くのは癩に障るので、突っ込んで行ったが、雨の日の腰以上ある笹コギは考え物であった。昨日と今日の笹コギで疲れ果て、シラサ峠避難小屋で半沈となってしまった。頭から足の先までずぶ濡れなので、無人なのを幸いに此处でも裸になり点検し、予備の下着に替えウインドシェル上下を着、だるまストーブに火を入れる。

【9月23日】 曇り時々雨

シラサ峠避難小屋 6:10→7:35 土小屋 8:00→ 9:40 石鎚山 10:30→11:45 二ノ森 12:15→
13:05 堂ヶ森愛大小屋

筒上山・手箱山に足を延ばす計画であったが、次回以降に持ち越すこととし、今日は堂ヶ森愛大小屋までと割り切り、明るくなって避難小屋を出る。

昨日の雨中笹コギに参ってしまい、笹コギが予想される筒上山方面を割愛する計画変更となってしまった。伊吹山も背丈を超える笹藪なので林道を通して土小屋へ、何たる軟弱者。

黒岩山荘の自販機のコカ・コーラのボタンを押し、トイレ休憩をする。

天気が悪いかからか、駐車している車は5・6台。静かな土小屋である。

急ぐ行程でもないので、ノンビリと霧中の静けさを楽しみながら歩く。石鎚山頂神社にお参りをしたらガスが晴れた。ここぞとばかりに、南尖峰まで遊びに行く。

岩は濡れてはいるがフリクションが効き快適である。天狗岳に男性が一人居ただけで、南尖峰は無人であった。クジラ岩に跨って、南面の景観を独り占めする。こんなに静かで長閑な石鎚は何年振りだろう。1年生の新人合宿の時、このクジラ岩で肝試しをさせられたことを思い出した。



＜弥山から紅葉の天狗岳＞

石鎚南面の縦走路は笹刈りがされており、西ノ冠岳下はハイウェイになっていた。岳連の方々であろうか、感謝である。10月の連休には愛大山岳会が面河道の整備等を実施する計画のようであるが、石鎚山系を愛する方々の取組みには、頭が下がる。二ノ森で雲湧く愛大尾根と石鎚南壁を飽かずに眺め、クラセの頭を經由して、霧の中の堂ヶ森愛大小屋に早々と着いた。

【9月24日】 曇りのち晴れ

堂ヶ森愛大小屋 6:50→9:15 保井野～壬生川～松山

ブナ林や石楠花林を楽しみながらノンビリと下っていたらバスの時間が迫り、林道を走って出発間際のバスに飛び乗った。

松山ではホテルの温泉で長湯して、大街道でトンカツと松山寿司に腹鼓を打った。

翌日は、愛媛マラソンコース（伊予北条から折り返しのハーフ）の試走後、道後椿の湯で汗を流し、魚武の鯛めしランチ、つぼやの抹茶・坊ちゃん団子と道後を満喫し、夕食は二番町で大判ステーキを食して、夜のフェリーで帰福した。

Ps：愛媛マラソンは抽選となっていたが、27日に当選のメールが届いた。うれしい！

「松山や 秋より高き 天守閣」 正岡子規（明治24年作）